

重症心身障がい児・者



支援シンポジウム

in 東信

地域で誰もが当たり前の
暮らしができるように

2019.9/28(土) 13:30~

会場▶佐久市立国保浅間総合病院 4階講堂

(詳細は4ページをご覧ください)

「重症心身障がい児・者」というよりは…
「医療的ケア児等」「高度医療依存児・者」
という表現が目立ってきました。

できるだけ長く生きてほしい。
きょうだいの触れ合いも
楽しんでほしい。

「支援のあり方を
もう一度考えたい」

知らないことがいっぱい。
もっと知りたい。
いろんなこと…。

生きている…
自分の存在を喜んでくれる
人がいてうれしい…

本人の思いと家族の
思いを混同しない。
本人中心の支援を作りたい。



公益社団法人 長野県社会福祉士会

医療的ケアが必要な児童数

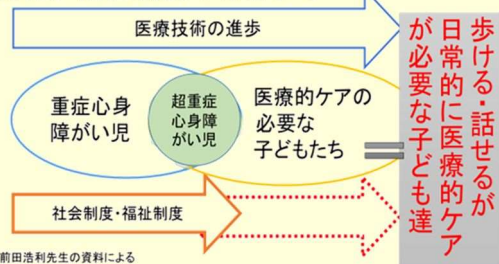
医療的ケア児数は、平成 18 年の 9,967 人からの 10 年間で約 2 倍となっており、地域における支援体制の確立が急がれています。



支援の対象が広がっている（児童福祉法の改正で）

児童福祉法の改正で、これまで「障がい児者」の定義の中に含まれていなかった、話せる・歩けるけれど医療的ケアが必要な人たちが、「障がい児者」として初めて法的に定義づけがなされました。これによって、障害福祉の支援の対象となることが法的に約束されました。

医療技術の進歩と社会制度・福祉制度のはざま



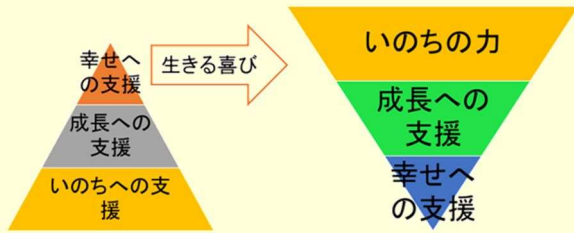
小児在宅療育に必要な社会資源



医療の知識にもとづく見守り、健康管理が必要な子どもたちもいます。



支援が本人と家族を
エンパワーメントする



- 在宅療育を支える医師の育成とネットワーク構築
- 圏域内医療機関の役割分担と連携

暮らし・成長のみならず、「いのち」を守るための医療資源の活用

- 子どもたちとサービス提供事業所、双方の実態把握を進める

要支援者の把握・登録と地域診断から地域支援資源の開拓・開発へ

- 圏域ごとの「医療的ケア児等コーディネーター」の育成・配置の検討

本人、家族や支援者の「相談」に誰かが必ず応じる、多職種連携による地域づくり

多職種連携による障がい児発達支援の輪。
成長に伴って支援者は交代する。
共に育った友人とも
地域社会の一員として支えあい、
親亡き後も地域で暮らす
地域包括ケアシステムへと
変容する

障害児発達支援の輪は、
地域包括ケアシステムの苗、
丈夫な苗を作ろう！



医療が必要な
子どもたちの
地域生活支援

= 小児在宅医療

暮らしに寄り添う福祉と
成長を支える保育・療育・教育と
いのちを守る医療が
手をつなぎあってこそ。



この子がいてくれたおかげで
みんながつながって
住みよいわが街になったなあ～と
思えたらうれしいな。

参加費無料!! 聴講自由!!



じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金

重症心身障がい児・者 支援シンポジウム in 東信

【地域で誰もが当たり前の暮らしができるように】

どんなに障がいが高くとも、生きがいをもって充実した生活をしたい。
この当たり前のことをどう実現し、どう支えるか、シンポジウムを開催し考えます。
長野県内の状況はどうなっているのか、誰もが暮らしやすい、より良い地域づくりのため
私たちは何をしたらよいのか? 学び合い理解を深める機会としましょう。

日時 ■ 2019年9月28日(土) 13:30~16:30 (受付 13:00~)

会場 ■ 佐久市立国保浅間総合病院 中央棟4階 講堂

内容 ■ 基調講演

「長野県の医療的ケア児等の生活支援を考える」

亀井 智泉 氏

信州大学医学部新生児学・療育学講座特任助教
長野県医療的ケア児等支援スーパーバイザー
長野こども療育推進サークルゆうテラス 代表

■ シンポジウム

■ テーマ 「地域で暮らし続けたい! そのために…今、必要なこと」

■ コーディネーター 亀井 智泉 氏 (前掲)

■ シンポジスト 小児科医師 (佐久市立国保浅間総合病院)

馬場ひかり 氏 (小諸高原病院療育指導室 児童指導員)

竹内 豊 氏 (らいおんハートからだの児童デイサービス佐久南)

渡邊 知子 氏 (当事者家族)

主催 ■ 公益社団法人 長野県社会福祉士会

参加申込書 (切らずにお送りください)

fax : 026-266-0339

公益社団法人 長野県社会福祉士会 宛

※ このシンポジウムは、赤い羽根募金の
配分金で開催されます。

氏名	
連絡先	TEL - - FAX - -
○ 休憩所は設置しますが、特別な配慮のご希望等ご記入ください。可能な限り対応します。	

問合せ先

公益社団法人 長野県社会福祉士会

長野県長野市南県町 685-2 長野県食糧会館 6F

TEL:026-266-0294 FAX:026-266-0339 E-mail:info@nacsw.jp